

元気の出る職場づくり実践事例集② ～あなたの力が学校の魅力になる～

【作成】令和6年度 中丹主幹教諭・指導教諭会

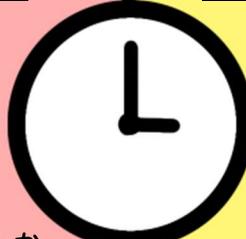
「ウェルビーイング向上のための学校施設づくりのアイデア集」
文部科学省 HP より



人間関係づくり

教員の良好な人間関係

困ったときに相談できる、分からないことを教えてもらえる人間関係が大切。私たちの言葉には自他共に勇気づけ、元気づける力がある。大切な同僚に今日も一声かけてみませんか。



学んだことをアウトプット

研修で学んだことを、Teams のチャット機能等を用いてアウトプットする。学んだことを整理して端的に言語化することで学びを共有した。

人材育成

活気のある学校をつくるためには、元気な教職員の存在は欠かせません。中丹主幹教諭・指導教諭会では、昨年度に引き続き、4つの観点から進めてきた教職員が元気になるための取組をまとめました。これらの実践例がさらに広まり、元気な教職員の力がつながり合って魅力あふれる学校づくりの一助となれば幸いです。

昨年度の事例集



ギミックシート



自主研修事例



校内スポーツ大会

様々なスポーツの知識・技能を習得する研修会と職員の親睦会を兼ねて行う。仲間の新たな一面の発見や経験値の向上、チーム力の向上を図る。

真面目な

雑談会

真面目な雑談会として 10 分～15 分のミニ研修会を設定した。「学びたいことや聞きたいこと」の内容に合わせて司会進行の担当者を変え、能動的な研修になるようにした。

ベテラン教員の強みを生かして

中堅やベテランの教員が若手教員に授業づくりや学級経営のポイントを教えた。中堅やベテランの教員も、後輩を育てるという意識を高めることができた。

ワクワクする授業づくり

授業者は「ギミックシート」(付けたい力を育むためのしかけ)を作成し、授業を行う。参観者は感想シートに記入したり、授業について交流したりした。

組織的な素早い対応の徹底

子どもの対応に困ったとき、関係教員でさっと集まり、指導の方向性や改善案を出し合った。家庭訪問や聞き取り等も複数で対応し、担任が一人で抱え込まないようにした。

ねらいを明確にした学校行事の指導

全ての学校行事において、必ず「何のためにするのか」「どんな力を付けるのか」を全教職員で共通確認して指導に当たることで、教員自身の意欲が高まった。

ウェルビーイングの向上

ウェルビーイングを意識し、児童生徒と教師が生き生きしている学校を目指した。働きやすさと働きがいの双方を意識し、改革を進めた。

強みを活かした自主研修会

校内の教師や SC、SSW に講師を依頼して知識・技能の向上を図る。講義形式だけでなく、互いに意見を交流することで視野を広げることができる。

挑戦がもたらす効果

今までやったことがないことをやってみることで、児童生徒・教師のエネルギーが高まった。よりよいものにしようとする姿勢が学校を前向きにする。

児童・生徒主体の取組へ

学校生活や行事について、子どもから願いや思いを吸い上げ見える化し、積極的に反映させることで校内に活気が生まれ、教職員が前向きに行事に取り組むことができた。



取組の詳細はこちら

Teams や OneNote の活用

Teams や OneNote を用いた連絡事項の確認を行うことで、時間を捻出することができる。

環境づくりと雰囲気づくり

お互いに声を掛け合い、協力したり、手伝ったりできる雰囲気を作ることによって心持ちが楽になる。そのことが意識向上につながる。

マネジメント

働き方・意識改革